

# 町田地区保護司会だより

第112号

発行 町田地区保護司会  
 会長 小山典子  
 編集 広報部  
 TEL 042(794)6791



境川源流地



## 着任の御挨拶

東京保護観察所立川支部長 藤井 淑子様

4月1日付けで東京保護観察所立川支部長に転任して参りました。平成24年度に続き、三度目の立川支部勤務となります。今回は、更生保護施設を中心に担当しており、保護司の方々とお目にかかる機会が少なかったため、今回、各地区保護司会の総会でお目にかかるとおっしゃっていただきましたのに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために総会が書面による議決となってしまい、このような形で御挨拶申し上げることになり、大変申し訳なく思っております。微力ではありますが、精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、昨今の今頃には全く思いもよらなかった生活を皆が送ることになりました。安心・安全な社会のために、保護観察所として適切に業務を

継続していかなければならない中で、これまで通りとはいかないことも多く、業務の中で大切なこと、重要なことは何かということ、改めて考えさせられました。その中で、保護観察にしても保護司会活動にしても、相手とじかに顔を合わせてこそその更生保護であること、人と人とのつながりが大切であることを痛感しました。

日常生活においても、更生保護活動においても、まだまだ戸惑いが多いことと思っております。今後、更生保護においても、「新しい日常」ならぬ「新しい更生保護」を模索していく必要があるのかもしれない。

皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げますとともに、引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度

## 町田地区保護司会総会

町田地区保護司会は、例年であれば5月に総会を開催しておりましたが、今年度（令和2年度）は新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から総会は開催せず、書面表決で行うことといたしました。その結果、全議案が可決承認され、無事に令和2年度の活動を開始することができました。また、他の関係団体（町田地区桐友会、町田地区更生保護女性会、町田地区更生保護事業協力事業主会等）も総会は開催せず、書面表決となり、活動を開始しました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は大きく、多くのイベントや活動が自粛による中止や延期となっています。今年の活動は予定通りには進まず、大幅に縮小され、常に手探りの状況で進むこととなりました。

（広報部長 石川 一郎）



町田地区保護司会の皆様には日頃より御指導・御協力を賜っておりありがとうございます。

令和2年が明けて間もなく新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常の事業が開催出来なくなりました。

総会は会員による書面表決にして、過半数の賛成をいただき承認されました。今年度は役員改選期で令和2・3年度の新役員が決まり、第1回理事会を7月16日に開き顔合せは出来ましたが、その後の活動はすべて中止になりました。

東京保護観察所、東京更生保護女性連盟からはこれまで実施していた本年度の社会参加活動は見合わせて下さいとのお便りをいただきました。

会として集まって活動は出来ませんがせめて電話やメールで情報交換をしていきたいと思っております。

コロナ禍の中三密をさけ外出自粛で買物に行く回数も減り、近所の人とも会う機会がなく、会っても挨拶程度で皆さんそれぞれ新しい生活

様式が出来たのではないのでしょうか。

地域の中学生はきちんとマスクをつけ、決められた事を守り学習や部活に励んでいます。修学旅行、移動教室、職場体験など中止になりましたが、体育大会は密をさけ競技を工夫して行った様です。

受験する3年生は大変ですが、いつか良い経験だったと話せる時がくることでしょう。早くコロナが収束して皆さんと更生保護活動が再開出来ることを願っています。

## 令和2年 研修報告

今年度の現在までの活動計画は、まったく計画倒れの結果になってしまいました。

コロナ禍の中、集団での活動が制限されて、定例研修や管外活動が出来ない事体となりました。一時制限が緩和されて、広い会場を借りての開催も検討しましたが、この計画も実現出来ない状態となりました。

第6ブロック保護司組織運営連絡協議会の会議が、リモート会議形式で開催される事となりました。このような形式で会議が出来ることを、会員の皆さんにもお伝えしようとなり、研修部でこの方式を伝える勉強会を設定することになりました。

10月からリモート会議体験会として、参加者の募集を行い実施することになりました。12月までに5回の体験会を行いました。オンラインやリモート会議などに精通している会員の協力を得て、30名の方々にリモート会議を体験して頂きました。今後も体験会を継続して行い、得られたスキルを役員会や分区分会などで活用してもらえれば幸いに思います。

（研修部長 加藤 俊夫）





## 町田住人の期待に応える

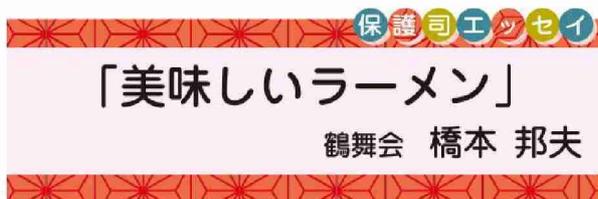
堺分区 廣田 昇克

「犯罪を減らし誰もが安心して暮らせる街を作る」これが警察官を志した動機です。そして退職まで心に決めて勤務したことは、被害者や相談者を「自分の家族だったら」と思って言葉掛け接してきました。退職後、浅学非才の私ですが、縁あって尊敬する先輩保護司の方から声をかけられ保護司の仕事に携わることとなり、身が引き締まると共に誇りと使命感を再認識させられました。

保護司活動も新型コロナウイルスの流行などで、社会が変革している時期で保護司のありようや行動自体が変わってきているなかで、活動も柔軟に対応していかなければいけないと感じています。

私は保護司を委嘱された時から心掛けていることがあります。それは対象者や家族の心に寄り添う姿勢を忘れないことです。時として対応がマンネリ化したり機械的になりがちですが、ほとんどの来訪者は一生に一度あるかないかのことです。

不安を抱えて勇気をもって来訪した気持ちを察し的確な助言や指導が出来るように、また、社会が期待する再犯防止・人格を正すためにも、関係法令集などに目を通して能力を向上させ日々自己啓発に努め、町田市住民の期待に一生懸命に応えたいと思います。



## 「美味しいラーメン」

鶴舞会 橋本 邦夫

「ごくろうさま！」

見上げると土手の上から年配の女性がにこやかに微笑んでいた。私は軽く会釈を返し、川の中に居た寮生に目をやった。彼は、はにかみながらこくりと頭を下げていた。

「更生保護法人鶴舞会」は、社会貢献活動の一環として、自己有用感や社会性涵養のため、4年前からボランティア活動に参加している。この日は寮生と一緒に「エコネット町田」というボランティア団体が行う恩田川清掃に参加していた。

川釣り用の長靴を履き、膝のあたりまで川の中に入り、川下から川上に向かってトングでゴミを拾い集める。その日によって異なるが、終了時には20リットルの袋が2つ満杯になることもある。とてもやりがいのある作業だ。ただ、足のない細長い天敵に遭遇しなければの話だが…。

活動を終え、帰りにラーメン屋に寄った。そこで寮生に「ごくろうさま！」についての感想を尋ねた。彼は、「不思議な感じでした。人の役に立つというのはいいもんですね。」と、しみじみ語り、美味しそうに麺をすすっていた。こんな姿を見ると胸がキュンと熱くなる。

更生を信じ、そっと背中を押してあげる。そして、また美味しいラーメンを求めて歩き出す。こんな毎日は私は好きだ。



## 忍耐と変化の時

町田分区 神蔵 宗

日増しに寒さが身にしみるようになりました。例年は「寒くなってきたので風邪に気を付けましょう」など、体調管理に気を遣う程度で済んでいましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、個々の生活様式や、様々なコミュニティーでの対応を要する困難な状況となっています。

自粛し全てを取り止める事は簡単ですが、それは社会崩壊にしか繋がらず、建設的な対応とはなりません。様々な環境でオンラインを活用し、新たな対策をされている事業の方は多いでしょうが、それでは事が済まず、対面方式が主の仕事に就かれている方も沢山居られると思います。私自身後者であり、幼児教育の事業所に勤務するため、オンラインの活用もするが、対面を欠くことができない環境です。その中において自身の感染は、事業所全体に大きな影響を与え、PCR検査を受けるだけでも行政への報告が必要となり、それにより利用者にも多大な迷惑をお掛けすることに繋がります。

今後の更生保護活動も、この状況に対応できる方法を取り入れなければ、特に現役世代の保護司が、仕事との両立を図ることは難しくなると考えられます。自身の仕事そして生活が順調でこそ可能な活動であり、それに影響があっては続ける事は難しくなります。この状況が、今後の更生保護活動を見直す良い機会として頂けることを強く望みます。

## 第70回 社会を明るくする運動

「四季彩の杜」における町田大会・広報活動

前日に降り続いた雨が嘘だったかのような穏やかな日に恵まれた10月24日、四季彩の杜西園において「第70回社会を明るくする運動」広報活動を実施しました。

例年は、駅頭・街頭広報活動や町田大会において広報活動等を実施しているのですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされました。

そのような状況の中、町田市推進委員会担当者と協議を重ねた結果、町田大会に代わる行事として浮かび上がったのが、四季彩の杜における広報活動でした。



四季彩の杜西園でしたら、広さや環境などを勘察し、安全・安心が担保できるのではとの結論に至ったのです。

今年の4月に開園した「四季彩の杜西園」は東京ドーム全体がすっぽり収まる5ヘクタールの広さを有し、自然環境に恵まれた園内にはカフェレストランや体験工房などが設置されています。

活動は、インフォメーションセンターの前にテントを張り、長机の上に広報資料を置き自由に持って行ける方法によって実施しました。「社会を明るくする運動」と「町田地区保護司会」の幟旗計10本も掲出しました。

配布資料は、更生保護のチラシ2種類、メディックパン、濡れティッシュなどでした。

これらを、「社会を明るくする運動」等と印刷されたファイルケースに入れ配布したのです。子供さんの来園も予測されたので、折り紙も用意しました。

感染予防には、検温器・消毒液を用意するなど、万全を図りました。



ゆっくりとした時間が流れる中、資料を受け取った来園者がチラシ等を手に取り「保護司って大変だよね」などと言いながら通り過ぎる姿を目にすることができました。

駅頭・街頭広報活動では見かけることが出来ない光景で、活動の意義を感じ取ることが出来た瞬間でもありました。

用意した広報資料は約500を配布することができました。町田地区保護司会からは計58名の保護司が参加し、桐友会からの参加もありました。活動後、小山町田地区保護司会会長、長澤東京保護観察所立川市部主任保護観察官などから挨拶をいただき、広報活動を終了しました。新型コロナウイルスの感染を危惧しながらの広報活動でしたが、天候に恵まれ、何より感染者が皆無だったことに胸をなでおろすことができました。園の管理者からは、保護司活動を理解していただき、テントや椅子の提供を受けるなど全面的な協力を得ることができました。感謝の想いを強くすると同時に、やって良かったとの思いにさせられた1日でした。

(地域活動部長 高野 昌憲)





**令和2年度  
ブロック別保護司組織運営連絡協議会報告  
町田分区 春山 幸子**

10月16日サポートセンターにてZoomでのリモート会議が開催されました。

第6ブロックとは、八王子、日野・多摩・稲城、西多摩（青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）町田の4地区会がメンバーです。都内に7ブロックあり、共通課題で意見書を提出します。

今年度テーマは「開かれた」保護司組織について

1. 適任人材の登用、専門部と分区、サポートセンターの活用から組織運営のあり方追求
2. 保護司の育成について工夫や課題
3. 地域の関係機関、諸団体との連携について  
事例、課題

其々の切り口から開かれた保護司会をめざし、課題、方策をさぐるという内容です。



8月12日第1回協議会で各分区2名の協議員と企画本部役員合わせて17名の顔合わせで、協議委員長に忠生分区長坂倉氏、副に鶴川副分区長神蔵

氏、書記に町田分区春山を選び、5回の日程を決めスタートしました。

各自1～3の課題を各々の立場、経験から書いてきてもらい、それを基に意見を出し合いまとめて行きました。何回も推敲を重ねた意見書を当番地区の西多摩へ送り、まもなく4地区の意見書が各地区に、それを読み込み質問を1地区2問にまとめ返送。町田への質問の回答を書き返送という段取りです。



リモート会議当日の進め方は、意見書は既に読んでいるので、質問、回答から。当地区も発言担当を決めスタンバイ。対面での協議会では、その場で質問再質問と理解を深める良さは言うまでもありませんが、それなりに目標を達成できたと思いました。

初の試みを見事に段取りされた西多摩地区の皆様本当にお疲れ様でした。

最後に講評を古川観察所長にいただき、藤井立川支部長、森久保東京都保護司会連合会長、次回当番の三入八王子地区会長の挨拶で終了しました。

協議委員の他PC設定等協力していただいた特別チームの皆様もご苦労様でした。

## 協力事業主会さん紹介

## 株式会社 眞技建

代表取締役 阿部 眞慈朗様



—どんなお仕事をされている会社ですか？

防水工事業です。ベランダ・階段の防水、サッシ回り・浴室・洗面台のコーキング等ですが、建築全般をしています。

防水工事と言っても、雨漏れ防止だけでなく、見映えも求められる仕事です。35年携わっていますが、未だに水漏れ箇所の追求には難しさがあり、日々勉強だと思っています。

今は関東全域の新築マンションの防水工事ですが、宮内庁庁舎、皇宮警察、慶應校舎等の改修工事もやりました。

—初めての人も出来ますか？

防水工事は事前の掃除が決め手で、仕上げと耐久性に大きな違いが出てしまいます。掃除は誰でも出来ますので、初めは掃除からしてもらいます。しかし、プロアークや高圧洗浄機の扱いにはコツがありますので、指導者のもとで慣れていってもらいます。

—アピールポイントは何ですか？

当社は最近、社員の若返りをはかり、従業員は24～31才までの6人です。募集は18～30才です。

ベテランから押しつけられることなく、伸び伸びと仕事ができます。年齢も近いので相談もしやすいようです。

寮もありますが、現場に直行・直帰を認めています。17時終業で残業はありません。これは若い人達の要望を取り入れたものです。

防水工事はデリケートな作業も多く、女性にも活躍してもらいたいと思っています。是非応募してみてください。

—なぜ協力事業主に？

私は建築業界のことは何も知らず、防水会社に入社しました。そこで、みっちり楽しく5年技術を修得しました。その会社が少年院を出てきた人、暴走族の少年達を雇っていました。皆真面目に仕事をする若者で悪い印象を持ちませんでした。むしろその若さから来るパワーを見せ付けられた感じでした。

私は25才で独立しました。そのきっかけをくれたのもその若者達です。会社として彼らの要望に応えることができず、そのため会社を辞めてしまった彼らに、上司として責任を感じた私も退社し、(株)眞技建の前身エース工業を設立しました。

町田に腰を落ちつけ、眞技建と名前を変更して25年がたちました。保護司会さんから協力事業主会員になって欲しいとお声をかけていただいた時は、全く迷いなくお引き受けしました。

私は若い人が伸びてゆくのを見るのがとても好きです。ベテランをそろえ、会社を回していた時期もありましたが、基礎を教えた後は、自分で考え工夫して素晴らしい職人になってもらう方式に変えました。

10代のあり余るエネルギーの発散を間違った方向にしてしまっても、20代になれば落ちついてきます。更生という言葉は硬いですが、誰でもやり直しができますし成長していけます。人が育っていくのを見られることは嬉しいものです。

(広報部 中島 寿子)

## 受賞おめでとうございます



「瑞宝双光章」  
拝受の栄に浴して  
南分区 内田 絢子

令和2年秋の叙勲に際し、身に余る瑞宝双光章拝受の栄に浴しました。

現下、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべての行事が自粛中で、後日小規模な伝達式等は開催される予定ですが、大変感激いたしております。

平成4年に保護司として拝命以来、今日まで継続できましたのは東京保護観察所をはじめ更生保護にかかわる多くの関係機関の皆様によるご指導の賜と心から感謝いたしており、謹んでお礼申し上げます。

多数の対象者の伴走では、人の心の痛みに共感、共有でき、伝達すること等で貴重な体験と学習をさせていただきました。

今後も、この榮譽に恥じることはないように心して、なお一層精進し、努力をしまいいたく存じますのでご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 藍綬褒章受章の挨拶

忠生分区 原 雄三

この度、はからずも令和2年秋の褒章（藍綬褒章）の栄に浴しました。これは一重に一緒に活動した町田地区保護司会の仲間とそれをご支援いただいた皆様へのご褒美だと思えます。ありがとうございます。

先日私は、25年前私を保護司に推挙していただいた大先輩の墓前に受章の報告をいたしました。墓前では当時のことを振り返り、昔の苦勞を想うかべ懐かしさの余り涙が出ました。

私は人との絆を大切に保護司活動を続けてきましたが、今年12月に満期定年を迎えます。今後は新しい縁を大事に、この榮譽に恥じないよう保護司活動を支援してまいりたいと思えます。ありがとうございました。



## 新任保護司ご挨拶



堺分区  
井上 博之

初めまして、井上と申します。この度、消防団の先輩でありますAさんからのご紹介で、入会致しました。ご指導の程、宜しくお願い致します。

職業は、町田街道小山の交差点脇で、「印刷社」を営んでおります。技術の進歩に伴い、最近ではペーパーレス化の時代となり、業界は、縮小してまいりましたが、頼りにして頂ける方々にお応え出来る様、頑張っ行ってこうと思っております。微力ですが、新たな出会いを楽しみに、親の教え「人生一生勉強」を胸に歩んで行きたいと思えます。



町田分区  
長嶺 敦

この度、令和2年8月1日付で沖縄県中部南宜野湾支部より、仕事の転勤に伴い町田地区保護司会へ転任いたしました長嶺と申します。

保護司の活動は約6年程になります。主に少年事案を担当させて頂きました。

町田の様に都会と地方では状況も異なると思えますが、対象者と向き合う働きや姿勢は何処も同じかもしれません。とは言え分からない事が多いので、諸先輩の皆様からご指導やアドバイスを頂きながらご協力したいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



南分区  
廣瀬 哲夫

私は、昨年から東京都就労支援事業の刑務所出所者等就労支援事業者に登録させていただきました。

法務省東京保護観察所で受けた講習では、再犯防止と仕事との関係を説明されました。

無職者と有職者では、再犯率が大きく異なり無職者は、26.5パーセントで有職者は、7.7パーセントと説明を受けました。

少年院の出所後の雇用が再犯防止または、犯罪被害の減少にいかん役立っているか学びました。

私は、保護司になっても、就労支援事業に尽力し、再犯防止の活動をとうして刑務所または少年院を出所した人たちが、自立し改善更生する助けをしたいと思えます。今後ともよろしく願います。



鶴舞会  
片桐 修一

10月1日付けで縁あって更生保護法人鶴舞会に入職し、この度保護司の大任を拝することとなりました。前職は矯正施設で環境調整報告書を拝見しながら対象者に必要な助言を行ったり、保護司の皆様が対象者の面接の際には対応させていただくなど矯正と保護の連携を行ってまいりました。

今回、矯正から保護に身を移し、心機一転目的は同じ対象者の更生のため、地域の先輩保護司の皆様のご指導を仰ぎながら活動してまいりたいと思えます。よろしく願います。



堺分区  
三沢 亮介



# 退任保護司ご挨拶



町田分区  
平本 璋一

お世話になりました。

皆様こんにちは！本年無事に与えられた任期を務め卒業することが出来ました。ひとえに更生保護にかかわる観察所の皆様や保護司の皆様そして地域社会の方々のご指導のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護司としての30年を振り返ってみますと、初任の頃は、仕事に追われ分区会の活動に出席する事も難儀でした。先輩のフォローでやっとの思いで行く事が出来ました。後半は保護司会の活動にかかわり、関係機関との連携や組織運営の重要性を勉強しました。保護司として多くの対象者と関わってきましたが、家族との関わりに大きな課題を持っている少年の多さを感じるとともに、心身の障害を併せ持つ少年が増えているようです。

多様性の時代、皆様のご活躍を願っております。



鶴川分区  
石阪 克男

平成16年5月保護司の任命を受け、以来16年間。令和2年5月に任期満了する事が出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

在任中、常々思っていた事は相手の気持ちに寄り添い共有する事で、心の隙間を埋め・豊かさを求めつつ「人は環境によって変わるし、変われる。」を目標に接しておりましたが、思い通りに行かないのが「世の常」と痛感させられた事も有り、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

最後に、町田地区保護司会の益々の発展と皆様方のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



南分区  
市川 恵子

コロナ騒ぎの真ただ中、5月に退任しました。

数ヶ月を経た今やっと終わったことを実感、いろいろ学ばせて頂いたこと、皆様に育てて頂いたことが、改めてありがたく思われます。

新たに立ち上げようとしていることも、今の状況に阻まれ、なかなか前に進めないでいる事が出来る事を少しずつ蓄積し、その時に備えられればと思っています。これまでとは違う立場でお役に立てればと思いつつステイホームの毎日です。

長い間有難うございました。



鶴舞会  
大山 久人

この度、更生保護施設鶴舞会を退職いたしましたことと、町田地区保護司会を退会することになりました。鶴舞会を通して、保護司会の活動に参加させていただき、多くのご指導ご教示をいただき、感謝申し上げます。今後は、自宅があります八王子地区保護司会で活動してまいりますので、変わらず、ご交誼くださいますように、よろしく願い申し上げます。

## 退任保護司紹介

堺分区  
小森 正彦

## 訃報

忠生分区 平塚 清海様  
桐友会 柿本 珠恵様

ご逝去を悼み、ここに謹んで哀悼の意を表し、お悔やみ申し上げます。

## 編集後記

様々な行事やイベントが中止となるなか、皆様のご協力により今年度第一回目の発行をすることができました。新型コロナはまだまだ収束する気配が見えず、世界各国が第三の波に襲われています。

皆様もくれぐれもご自愛ください。

(広報部 村松 由里)